

第26回城崎短歌コンクール入選作品

賞	作品	県・市	氏名
最優秀賞	初めての城崎温泉夫の病完治を願う湯けむりの中	茨城県ひたちなか市	石崎 千代美
優秀賞	城崎の湯浴衣姿の老夫婦親と重ねてふと電話する	奈良県奈良市	河野 晴菜
優秀賞	湯の里に寒波到来のき先の氷柱のカーテン朝日に煌めく	兵庫県加古川市	橋 真希
優秀賞	仁王立ち古代の息吹き玄武洞銀河をうつす円山川面	大阪府大阪市	村橋 照善
優秀賞	孤独な夜城崎の湯に身を沈め葛藤の影湯気に溶けゆく	大阪府大阪市	村上 哲也
優秀賞	インバウンド効果もたらし湯の里は外国ことば飛びかい賑やか	兵庫県美方郡	國谷 由喜子
入選	寒椿ひとり佇む城の崎に風が静かに心を撫でる	東京都新宿区	小林 えま
入選	温泉の貸し切り嬉し露天風呂湯気で霞んだ雪景色	兵庫県姫路市	村井 愛子
入選	遥かなる記憶の中に思い出を辿る旅路の城崎温泉	愛知県稲沢市	吉田 恵子
入選	城崎の旅情に躰を委ねればそっと肩沿う冬のゆけむり	東京都渋谷区	伊東 凜人
入選	下駄の音と家族の鼻歌聴きながらそぞろ歩くは夜の城崎	京都府京都市	吉田 早紀
入選	車椅子乗りし母の背舞い降りてふわりととける城崎の雪	京都府福知山市	山口 秀樹
入選	似合うでしょう妻はんなりと浴衣着て夢二絵姿外湯巡りて	大阪府大阪市	甘利 麻紀子
入選	再訪を願いし夫は胸の内思い出擦る城崎の町	山口県周南市	野村 貞江
入選	文芸館足湯につかり文庫読み語り合はせむかの文豪と	大阪府大阪市	木元 豊子
入選	夜桜の雪洞浮ぶ水鏡大谿川は春の宴よ	兵庫県豊岡市	今井 登美子
入選	鶴鶴の傷を癒せし鴻の湯にわれも腰痛治しに浸かる	兵庫県豊岡市	谷口 俊一
入選	生くことと死ぬこととある静けさの城の崎の地に川は流れる	東京都新宿区	川崎 千草
入選	「死はきつと生の近くにいるんだよ」「そんなことより今日パスタだよ」	東京都新宿区	本間 まどか
入選	灯籠の規則正しくある道で傷口に夜気が染み込んでいる	東京都新宿区	田口 茉優
入選	花筏流れる川の青空に映える柳の緑日映い	兵庫県豊岡市	川原 美也子
入選	湯めぐりとかしまし娘食べ歩き羽織りし浴衣華やぐ笑顔	大阪府四条畷市	今井 優子
入選	温泉とか松葉蟹とか味わってないけどいつか書きたい「城崎にて」を	東京都新宿区	亀井 愛
入選	橋の上揺れる灯籠下駄の音裾を濡らす文月の雨	静岡県静岡市	大石 桃子
入選	いたずらな雨がどんどん滲みていく孤独な蜂も泣いているかも	東京都新宿区	岩崎 麗子
入選	城の崎の橋に積もりし雪に残る子供の手形と鳥の足跡	東京都新宿区	中村 心遥
入選	湯気立つや温熱だけが染みわたり肌も心もとろけてく	東京都新宿区	新谷 桃子
入選	城崎の湯けむり昇る静かさに温もり包む孤独の心	東京都新宿区	渡辺 安葉
入選	掌に残る感触命とはこんなに軽くこんなに重い	東京都新宿区	門井 莉来
入選	城崎の湯に浸かりふと思出す小説の神様も来たのだと	東京都新宿区	久保田 ひなの
入選	今ここに足を地に着け立てるのもただの偶然そんな寂しさ	東京都新宿区	堀 珠己
入選	皆いない冷えた瓦に横たわる蜂一匹をじっと見つめて	東京都新宿区	古谷 亜子
入選	寒空の心も体もあたためる麗しきかな城崎の宿	東京都新宿区	笹沼 紗里衣
入選	カラコロと音の鳴る街湯を巡り友と語らう新生活を	大阪府和泉市	石井 陽菜
入選	残雪を踏み締めてある旅人と木の葉を誘ふ城崎の湯気	兵庫県尼崎市	大沼 遊山
入選	城崎で夫婦の湯下駄カタカタと十年後思う我目を閉じる	兵庫県尼崎市	荒川 としみ
入選	朝靄に浮かぶ小舟の汽水域競う湯けむり城崎の街	兵庫県豊岡市	畑中 照久
入選	からころと下駄の音軽く響きおり湯の香やさしや城崎の街	兵庫県朝来市	前田 吉幸
入選	湯のまちの夏の夜空に夢花火遠い記憶が心を揺らす	兵庫県朝来市	桐山 徹郎
入選	辛きことありとて笑顔忘れえぬ優しき人に城崎の湯を	福井県あわら市	浅野 直美
入選	「今どき」の若者はといわれた吾傘寿の吾は熱き湯に入る	兵庫県豊岡市	四角 澄朗
入選	明けやらぬ湯の街うつす街川を茜に染めて日の昇り来	兵庫県豊岡市	高岡 千春
入選	新婚のころの約束今叶う城崎にての蟹と温泉	静岡県伊豆の国市	高田 圭子
入選	城崎はやさしき人とお湯ありて手術跡かくす心は緩む	奈良県奈良市	甲斐田 八重
入選	湯巡りしカラコロンと定宿に衣を返し親の夢見む	東京都足立区	佐藤 春夫
入選	星を背に滝音と燃ゆ葉を眺むれば身も包まるる城之崎の湯かな	埼玉県坂戸市	岡嶋 拓志
入選	褒めくれし姉妹旅行を掘りおこしそぞろ歩かず城崎の街	大阪府羽曳野市	赤澤 皆
入選	温もりを浴衣につつま外つ国の人も行き交ふ湯めぐりのさと	山梨県甲府市	佐野 一彦
入選	湯巡りを共に行きたし雪の街響く下駄の音遥か遠くに	兵庫県姫路市	中島 保
入選	人繋ぎ言葉紡ぎ歴史編むこの思い出も城崎の一部に	神奈川県横浜市	岡崎 貴樹
入選	日が落ちて水面に映える行燈が昼間の暑さぬぐいさるかに	大阪府高槻市	太治 ミサ子
入選	コロナ明けて英語、ハングル、中国語とびかうお店でかに寿司を食む	京都府京都市	小坂 純一郎
入選	とくとぶつとやわらかな湯に白みゆく城崎の空にコウノトリゆく	京都府京都市	寺澤 由美子
入選	雪道を踏み締め湯へと歩み進め冷えた身体へご褒美時間	兵庫県川西市	寺前 春菜
入選	私の名を間違えて呼ぶ母の手をしっかりと握り巡る城崎	兵庫県川西市	木内 美由紀
入選	心身の疲れを癒しに城崎へ一月後にはまた来たいなあ	高知県高知市	時光 知鶴

第26回城崎短歌コンクール入選作品

賞	作品	県・市	氏名
入選	社会人見えない疲れ溜まってた城崎の湯が癒してくれた	大阪府大阪市	井上 沙季
入選	「寒いね」と吐く息白く暖簾まで友と早足温き心よ	東京都小金井市	中西 絵理奈
入選	入湯の心得母国語に訳すひと城崎の香ほんのりまとう	愛媛県松山市	池田 敦子
入選	城崎の朝に香るシャンプーとセーターに残る昨夜のカニ	大阪府枚方市	吉川 琢巳
入選	水いらず初めて訪ねるきのさきでふとよみがえる二人の京都	滋賀県大津市	藤島 崇史
入選	霧雨に降られて歩く道中も是れ湯冷ましと華になりけり	兵庫県宝塚市	萩原 早帆子
入選	カニ過ぎて柳萌え出づ温泉街但馬の牛に舌鼓かな	大阪府箕面市	榎本 多津美
入選	大泣きの孫と入る温泉それもまた楽し幸せの城崎またいつか	兵庫県小野市	肥田 知春
入選	雪靴を脱いで駆けだす赤い足仲間と共に気持ち新たに	北海道札幌市	細江 隼平
入選	翻る蝶や稚魚らの仔細まで見えて直哉の重ねてぞ思ゆ	兵庫県西宮市	山部 直也
入選	夏の夜の柳が光る城崎で袖振る彼女と巡る恋七湯	大阪府吹田市	宮田 開生
入選	神様の足跡追って文学の道へと進むここ「城の崎にて」	兵庫県明石市	増田 知見
入選	駅着くと浴衣の駅員お出迎え梅雨が終わって夏の始まり	大阪府東大阪市	植田 紗衣
入選	幼き子連れて巡りし城崎で今亡き夫こうのとりに微笑む	兵庫県西宮市	高木 文子
入選	夜桜を見ながら歩く温泉街ヒラヒラ散ってる桜の絨毯	兵庫県尼崎市	井原 茜
入選	月の道涼しげなる風うし蛙全て忘るる城崎温泉	大阪府寝屋川市	小谷 来輝
入選	雪片と悩みも全て呑み込みて流るる大谿古湯の冬日	兵庫県豊岡市	藤田 幸美
入選	うっすらと淡雪おおう太鼓橋記念にパチリ宿傘かかげ	兵庫県豊岡市	森田 洋
入選	城崎の湯気をまとわりしずり雪朝陽はじきて玉とならん	大阪府大阪市	芝 航汰
入選	亡き夫の好物なりしセコ蟹を一人食べたる毘寿なる我わ	兵庫県豊岡市	山田 まゆみ
入選	早幾とせ共に湯あみの喜びに妹の背をみや我想う	富山県砺波市	松田 栄美
入選	湯も優し人も優しいこの土地に温き身体でコウノトリ仰ぐ	大阪府吹田市	市場 さと枝
入選	都から山越え谷越え城崎に火照った頬に吹くは潮風	京都府京都市	妹尾 直弥
入選	屋根のため組まるる木々の完璧な比率の下に身を冷ましをり	大阪府枚方市	上原 優真
入選	城崎の湯けむり立ちて路地静か古き情緒に心ほころぶ	愛知県名古屋市	栗本 衣乃
入選	銀行の山陰海岸揺られ来て午前七時の城の崎にて	石川県金沢市	清水 彩聖
入選	手湯足湯外湯めぐれば城崎の風はやさしく頬を撫でゆく	北海道札幌市	藤林 正則
入選	湯けむりに冬の月影揺らめいて城崎の夜は夢を結びぬ	大阪府堺市	西川 玄汰
入選	枝垂れ柳川と流るる錦鯉澄んだ天色城崎温泉	和歌山県和歌山市	阪本 澄佳
入選	城崎の輝く街を歩く音下駄を響かせ笑顔はじける	大阪府寝屋川市	下田 紗矢佳
入選	俄雨桃花色に肩を寄せ歩み導くあえかな蛍灯	大阪府大阪市	吉村 京花
入選	城の崎へ川の流るる湯の流れ人の流れに漂い行かう	神奈川県厚木市	金指 有美
入選	空の青川のきらめき鮮やかにほほをなでるは城崎の風	広島県東広島市	面林 優花
入選	先客の源氏の君を捕まえたる木屋町通りの花吹雪かな	兵庫県朝来市	高橋 久美枝
入選	よくばりでわがままになってしまうの地図には行きたいとこだらけだよ！	大阪府大阪市	日野 江美
入選	共連れの藍の浴衣に下駄揃えそぞろ歩きの出で湯きのさき	大阪府寝屋川市	柳澤 陽子
入選	出石そばかばん散策ふれあいの酔って楽しむ温泉ワイン	京都府相楽郡	北谷 匠
入選	城の崎の暮れゆく夕陽秋の宵寂しく冷えた心溶けゆく	東京都新宿区	四方田 恭佳
入選	城崎の柳やさしく風に揺れ亡母のおもかげ川面に浮かぶ	福井県あわら市	笹岡 一彦
入選	川面渡る涼風に頬冷まされぬ湯の香求めし夏の日の旅	奈良県大和郡山市	水野 隆司
入選	秋晴の日本海には翳雲直也もこれを見たのだろうか	兵庫県明石市	小田 虎賢
入選	城崎の旅の終わりの桜径思い出深し卒寿となりて	兵庫県美方郡	西村 美也子
入選	『太鼓橋』を笑顔で詠みし夫は逝き柳並木に面影しのぶ	兵庫県朝来市	田畑 洋子
入選	遠き日の君がはな緒をわが下駄に城崎のみちわれ一人いく	兵庫県神戸市	小菅 瑞代